

新指定の答申物件【史跡】

【名称】 おがさわら ししろあと いがわじょうあと はやしじょうあと
小笠原氏城跡 井川城跡 林城跡

【指定所在地】 井川城跡：松本市井川城一丁目 4553 番外
林城跡：松本市大字里山辺 5348 番外

【指定面積】 361,536.61 m²

【概要】 松本平の中央部から東部に位置する、室町時代から戦国時代にかけての信濃守護小笠原氏の本拠となった城跡で、平地に築かれた井川城、山城である林城から成る。小笠原氏は、建武元年（1334）に信濃守護に任命されたが、領国統治は安定せず、常に軍事的な緊張の中に置かれていた。文安3年（1446）に勃発する小笠原一族内での家督相続争いは小笠原一族を三家に分裂させ、天文3年（1534）に府中小笠原氏により再統一されたが、天文19年（1550）には、武田晴信の侵攻により府中小笠原氏も信濃国から追われた。

こうした混乱の中、小笠原氏の居城は15世紀後半には平地の井川城から、防御性に優れた林城に移ったようであり、これは戦国期に全国的にみられる平地から山城へという領主の居城の変化の典型である。また、いずれの城跡もその保存状態は良好であり、室町時代から戦国時代に至る領主の居城の在り方を具体的に知ることができる。小笠原氏の動向を示すだけでなく、室町幕府や鎌倉府、上杉、徳川、北条といった信濃を取り巻く諸勢力の政治、軍事的な動向を知る上でも重要である。

【問い合わせ先】 松本市教育委員会 文化財課 0263-34-3292

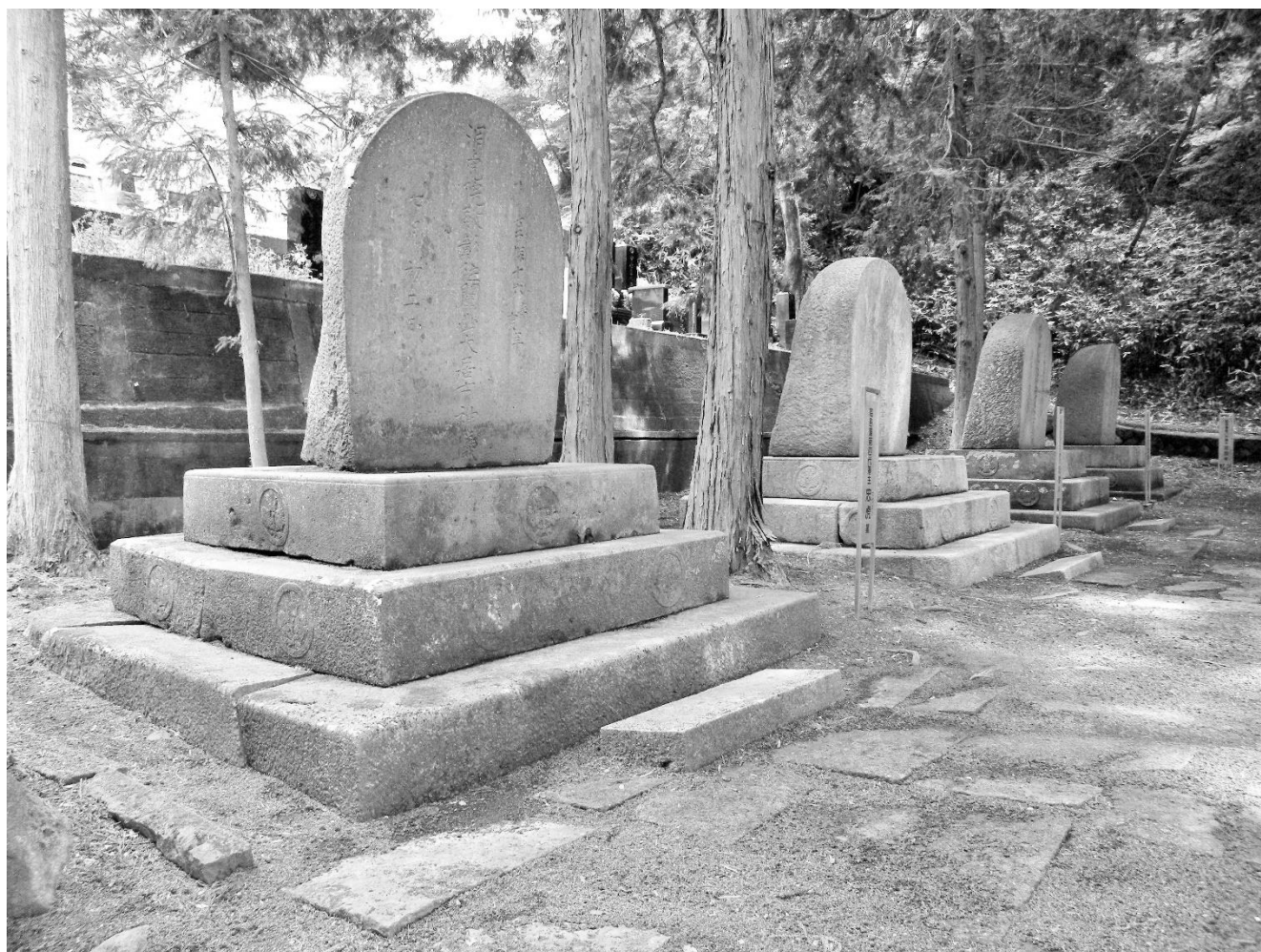


小笠原氏城跡（林大城跡 塹堀）

写真提供：松本市教育委員会

新指定の答申物件【史跡】

〔名 称〕	たかしまはんしゆ す わ け ぼしよ 高島藩主諏訪家墓所
〔指定所在地〕	茅野市頼岳寺：茅野市ちの 1754-1 外 諏訪市温泉寺：諏訪市大字上諏訪字北垣外 10637 番 15 号
〔指定面積〕	1,495.13 m ²
〔概 要〕	信濃国一宮諏訪大社の神職や諏訪の領主として古代以来の氏族である信濃国高島藩主の諏訪家代々の墓所である。諏訪頼水は、関ヶ原の戦いの際に徳川秀忠に従い信濃上田城を攻めた功で、慶長6年(1601)に諏訪の領地を与えられ初代高島藩主となった。以後、諏訪家は明治維新まで藩主を代々務めた。 頼水は寛永8年(1631)に、中世以来の諏訪氏の拠点である上原城近くに頼岳寺を開基して両親を葬り、頼水も父頼忠のそばに葬られた。二代忠恒は、慶安2年(1649)に菩提寺として温泉寺を高島城下に建立した。忠恒が江戸で没しても温泉寺に葬られるとともに、以降の藩主も江戸で死去しても温泉寺で葬られ、二代忠恒から八代忠恕までが葬られて明治維新を迎える。 頼岳寺の御霊屋は安政6年(1859)に再建されたもので、三部屋に分かれ、中央に頼水の父頼忠、右に母理昌院の部屋があり、それぞれ宝篋印塔と五輪塔を一对とする組み合わせである。左には頼水の部屋があり、安山岩製の石廟が収められる。温泉寺の墓所は、基壇を含めて高さ約3mの石製墓標が並び、特に忠恒の墓標には、戒名の刻字部分は金泥、標身の継ぎ目には漆喰が充填されている。 以上のことから、近世大名の墓所の在り方を知る上で重要である。
〔問い合わせ先〕	茅野市教育委員会 文化財課 0266-76-2386 諏訪市教育委員会 生涯学習課 0266-52-4141 (内線 582)



高島藩主諏訪家墓所 (温泉寺 藩主墓標)